

請 願 ・ 陳 情 文 書 表

平成30年12月定例会

| | | | |
|--|---|-----------|------------|
| 受 理 番 号 | 4 | 受 理 年 月 日 | 平成30年9月26日 |
| 請 願 ・ 陳 情 者 | 渋川市渋川893番地38 一般社団法人 渋川北群馬歯科医師会 会長 宮下 隆敬 | | |
| 紹 介 議 員 | 山 崎 雄 平 | | |
| 付 託 委 員 会 | 教育福祉常任委員会 | | |
| <p style="text-align: center;">歯周疾患検診の拡充に関する請願</p> <p>【請願の趣旨】</p> <p>渋川市で実施中の歯周疾患検診事業は30歳から70歳までの10年ごとの検診事業です。この事業を20歳から70歳まで5年ごとの切れ目のない歯周疾患検診とし、さまざまな口腔疾患予防はもちろん全身的合併症予防のために拡充をお願いいたします。</p> <p>【請願理由】</p> <p>1 現在、渋川市では20歳代の歯周疾患検診が実施されていません。特に女性では出産を迎える重要な時期に歯周疾患検診を行うことが、早産・流産等の合併症の予防になることが学会から指摘されています。さらに、同年代は家庭における生活習慣の形成のかなめであり、フレイル（全身の虚弱）予防の基礎となる年代です。これらの医学的根拠により歯周疾患検診を20歳代からきめ細やかに拡充することをお願いいたします。</p> <p>2 2017年厚生労働省調査では8020達成者（80歳になっても自分の歯を20本以上有する者）は全国で50%を達成していますが、渋川市の同年調査では27.3%です。この状態の改善のために歯周疾患検診事業の拡充をぜひともお願いいたします。</p> <p>3 歯周病等による歯の欠損が「社会的／心のフレイル（虚弱）の引き金」になり、滑舌やそしゃく力の低下を引き起こすことがわかってきて、この状態をオーラルフレイル（口腔の機能の虚弱）と呼称するようになりました。東京大学高齢社会総合研究機構の飯島勝矢教授の「柏スタディ」によりますとこのオーラルフレイル状態が継続すると全身的サルコペニア（筋肉減少症）・ロコモティブシンドローム（運動器症候群）に進行し、摂食・嚥下障害を惹起するとともに要介護状態となることが学術的研究でわかってきました。この視点より全年齢層へのきめ細やかな拡充をお願いいたします。</p> | | | |